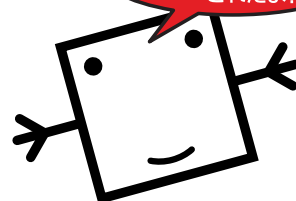








































百ますの前に
これだよ!



毎日の学習は「きょうのかだい」を使うことで、一步一步、段階をふんだ学習をすることが可能です。これから数や数字を学ぶ小さなお子さんはもちろん、小学校低学年のお子さんも、ぜひ「きょうのかだい」はレベル1から取り組んでください。数字の正しい書き方や数の合成・分解といった、とても大切なのになかなか練習する機会がないことを学べます。また「こんなの簡単だよ」と感じながら、テンポよくすすいすい答えていくことを脳は心地よく感じ、それが脳を活性化することにつながるそうです。ここでは、脳が心地よく感じる学習をしていただくために、「きょうのかだい」を中心に、現在の到達度に応じてどのような学習の進め方をすればよいかについてのアドバイスをお届けします。

ステップ	アドバイス	学習のすすめかた
<p>ウチの子は、まだ数を数えたり数字を書いたりできません。</p>	<p>まず「数唱」や「数字の書き」から、練習を始めましょう。</p>	<p>  ▶  ▶    </p> <p>【かずをおぼえよう】 【すうじをかこう①】 【すうじをかこう②】の3つの「おけいこ」をくり返し使いましょう。</p> <p>  ▶  ▶  </p> <p>【てんをつなごう】も数唱のよい練習になります。 1から10までの数が言えて、書けるようになるまで、ゆっくり時間をかけておけいこをしてください。「かだい」を始めるのは、数字が書けるようになってからがおすすめです。</p>
<p>10までの数がいえて、数字もあるていど書けるようになります。どこから始めればいいですか？</p>	<p>「きょうのかだい」で「十進法」や「順番」から練習しましょう。</p>	<p>  </p> <p>数唱ができ、数字もあるていど書けるお子さんなら、【きょうのかだい】を使った毎日の学習ができます。【10までのかず】で十進法のしくみ、【じゅんばん】で序列の理解…と、毎日ひとつずつ「かだい」の学習を進めてください。</p> <p>  ▶  </p> <p>くりかえし同じ問題を練習したいときは、いつでも好きな「かだい」を練習することができます。</p>
<p>数字が書けて、かんたんなたし算・ひき算ならできます。</p>	<p>「きょうのかだい」を中心に、5や10の合成・分解に習熟しましょう。</p>	<p>  </p> <p>【きょうのかだい】を中心に、毎日の学習をするとよいでしょう。数の基本が身につけていけば4日目に【5になるかず①②】に進みます。この「かだい」は、数の合成を扱う内容です。クリアすると翌日は【5をわけてみよう①②】に進みます。これは数の分解を扱う「かだい」です。</p> <p>  ▶  ▶         </p> <p>【5になるかず①②】【5をわけてみよう①②】と【10になるかず①②】【10をわけてみよう①②】は、たし算・ひき算をスムーズにこなす上でとても大切な事柄です。くり返し練習しましょう。</p>

ステップ	アドバイス	学習のすすめかた
<p>くり上がりがないたし算なら、何とかできるようです。まず計算をさせるには、まだ早いですか？</p>	<p>五ます計算や十ます計算の「くり上がりなし」から、始めましょう。</p>	<p> ▶  ▶  ▶ </p> <p>【五ますたしざん】が30秒以内でできるようならくり返し練習しましょう。20秒ぐらいでできるようになったら、くり上がりのない【十ますけいさん】をやります。きびしいようなら【たしざんカード④】をくり返し使います</p> <p> ▶  ▶  ▶  ▶ </p> <p>くり上がりのない【十ますけいさん】が、30秒以内でできるようになるまで練習しましょう。できるようになったら、くり上がりのない【かいだんけいさん】にチャレンジしてみましょう。</p> <p> ▶  ▶  ▶ </p> <p>【かいだんけいさん】でくり上がりがないたし算45種類のパターンに習熟しましょう。その後、【二十五ますけいさん】のくり上がりなしの問題を、たくさんこなしてください。 ※くり下がらないひき算も、同様の学習法をおすすめします。</p>
<p>くり上がりやくり下がり、しっかり身につけさせたいのですが、どうすればいいですか？</p>	<p>基礎から見直し、10の合成・分解から鍛えましょう。</p>	<p> ▶  ▶  ▶   ▶ </p> <p>【10になるかず②】【10をわけてみよう②】を30秒以内でできるようになるまでくり返し練習します。 できるようになったら、【たしざんカード⑤】【たしざんカード⑥】をやってみましょう。</p> <p> ▶  ▶  ▶ </p> <p>くり上がりありのたし算を、くり返し練習しましょう。 【十ますけいさん】【二十五ますけいさん】でも、くり上がりありの問題を設定し、練習することもできます</p> <p>※くり下がりのひき算の学習法も、ひき算の教材を使って同様の流れで行います。10の合成・分解のちからが、しっかり身につけているかどうか肝です。</p>